

■韓国：CT&T社、リチウム電池搭載車を日本で販売

電気自動車メーカーのCT&T社は2010年8月9日、リチウム電池を搭載した電気自動車を日本で販売すると発表した。同社が開発したリチウム電池を搭載した低速電気自動車（e-ZONE）が日本の国土交通省から型式認定を受け、日本での販売が可能になったことによるものである。国土交通省の型式認定を受けたことで、今後1年間に最大1,000台のe-ZONEを販売できる。同社は2010年6月にも蓄電池を搭載した電気自動車の型式認定を取得しており、今回の取得で2種類の電気自動車の販売が可能になった。e-ZONEは家庭用電源で充電できるリチウムポリマー電池を搭載し、各仕様がフル充電で最大110km走行可能、最高速度が時速55km、2人乗りの3ドアハッチバックなどとなっている。なお、同社は日本での販売に先駆け、2009年に米国の警察などにe-ZONEを納入している。